

授業科目名	インターンシップ(2000087)		
時間割名	インターンシップ(71108)		
時間割担当	岡野聡子		
実施期	通年	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

インターンシップは、大学における学びと社会での経験を結び付け、自己の職業適性や将来設計について考える機会となるものである。本科目では、社会人としての心得やマナー、コミュニケーションスキルを磨き、現場での就業体験（連続5日以上）を通して、今後の自分自身がやるべきことを明確化することを目的としている。

学習の到達目標

1. インターンシップの意義を理解し、計画性を持って活動に参加することができる。
2. インターンシップ先を自身の関心に基づいて選択し、主体的に行動することができる。
3. インターンシップ実施後、活動を通して得た学びの成果を3つ以上、具体的に説明することができる。

授業方法・形式

講義では、インターンシップの意義を理解し、社会人としての心得・マナーについて学ぶ。また、インターンシップを通して、そこでの活動内容や学びの成果を全体の場でプレゼンテーションをする。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
授業目的および内容の説明、成績評価について説明する。
- 第2回 事前指導 インターンシップ先の選択および決定
インターンシップ制度の概要を理解し、インターンシップ先への登録を行う。
- 第3回 事前指導 エントリーシートの作成
自己紹介シートをもとに、エントリーシートの作成を行う。
- 第4回 事前指導 社会人としての態度形成：マナー講座
外部講師によるマナー講座を通して、社会人としての振る舞いを磨く。
- 第5回 事前指導 社会人としての態度形成：コミュニケーションスキルの獲得
アサーションスキルや傾聴スキルを学び、コミュニケーションスキルを磨く。
- 第6回 事前指導 社会人としての態度形成：印象の良い自己紹介の方法とは
模擬面接を通して、印象の良い自己紹介の方法を学ぶ。
- 第7回 インターンシップ
就業体験から、学びの成果を日誌にまとめる。
- 第8回 インターンシップ
就業体験から、学びの成果を日誌にまとめる。
- 第9回 インターンシップ
就業体験から、学びの成果を日誌にまとめる。
- 第10回 インターンシップ
就業体験から、学びの成果を日誌にまとめる。
- 第11回 インターンシップ
就業体験から、学びの成果を日誌にまとめる。
- 第12回 事後指導 まとめ
インターンシップにて得た成果をプレゼンテーション資料にまとめる。
- 第13回 事後指導 まとめ
インターンシップにて得た成果をプレゼンテーション資料にまとめる。
- 第14回 事後指導 インターンシップ報告会
1～3年次のキャリア形成科目において、インターンシップの報告を行う。
- 第15回 事後指導 インターンシップ報告会
1～3年次のキャリア形成科目において、インターンシップの報告を行う。

成績評価の基準

1. 毎回の授業終了前に実施する振り返りシートおよびインターンシップの日誌（30%）
2. インターンシップ報告会に参加し、自身の学びの成果を全体の場で発表する（20%）
3. 「インターンシップで得た学びの成果とは」をテーマとしたレポート課題（50%）

授業時間外の課題

適宜、授業内にて指示する。

メッセージ

1,2年次において、自己理解と社会への理解を二本柱として、キャリア教育を実施してきました。2年次後期開講科目「キャリアデザイン・ペロップメント」では、職業研究や業界研究を中心として、ある程度、自分の関心が高い仕事を模索することができたのではないのでしょうか。本インターンシップでは、実際に社会人として仕事の現場に入ること、自己の適性を再確認するだけでなく、多様な人との関わりの中で自己の成長に役立つ学びを得てほしいと考えています。こうした就業体験をもとにして、それぞれの夢・目標に向かって4年次の進路決定に生かしてほしいと思います。

教材・教科書

インターンシップ日誌（授業内で配付します）

参考書

渡辺三枝子、他（2011）『はじめてのインターンシップ 仕事について考えはじめたあなたへ』アルテスパブリッシング